

学校関係者評価委員会報告書

学校法人 国際学園 横浜国際福祉専門学校
校長 坂本 翔子

横浜国際福祉専門学校は、平成27年度自己点検評価結果を踏まえ、学校関係者評価委員会を開催いたしましたので下記の通り報告いたします。

1. 開催日時 平成28年11月14日（月） 20:00～20:45
2. 出席委員

豊田 宗裕	聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 准教授
坂本 翔子	横浜国際福祉専門学校 校長
伊東 一郎	横浜国際福祉専門学校 副校長
佐々木 卓	横浜国際福祉専門学校 事務長

3. 議事報告

平成27年度自己点検について

◎項目ごとの学校関係者評価・意見

①教育理念・目標

- ・引き続き、学校の理念、目的、育成人材等についての内容理解の確認を進めてほしい。

②学校運営

- ・継続して組織運営、情報公開が適切にされていることは評価できる。
- ・時代のニーズ把握によりいっそう尽力をつくしてもらいたい。

③教育活動

- ・全員での研修・講習会実施はぜひ行ってほしい。教職員の資質向上につながる。期待したい。
- ・教育活動に対する姿勢は、高く評価できる。このまま持続してほしい。

④学修成果

- ・就職率の実績は大変すばらしい。継続してほしい。
- ・退学率が、昨年度と比べると目立つ。何故か。原因の把握および指導・支援体制の見直しが必要。また家庭の連携を密にする必要がある。
- ・留年生及び基礎学力低下の学生に対し、一から勉強方法を教える必要があると思う。また、授業中及び授業終了後に理解の確認を行う等もおこなってみてはどうか。

- ・卒業生の活躍が聞こえるのは嬉しいことである。長年の実績の証である。

⑤学生支援

- ・社会人を対象とした公的機関の給付制度はどのようなものをおこなっているのか。
- ・平成27年4月に厚生労働省より介護福祉学科は、教育訓練給付金の専門実践訓練講座として指定を受けている。この制度をより広めていきたい。
- ・卒業生に対する支援方法を、見直しさらに取り組んでほしい。
- ・スクールバスの運行は、学生にとって大変便利であると思う。良い取り組みである。

⑥教育環境

- ・学生の学ぶ環境整備をおこなっていただきたい。

⑦学生の受け入れ募集

- ・志願者を増やすために、体験入学だけではなく授業見学を取り入れてみてはどうか。学生の様子、学校の雰囲気を感じてもらうことは大切である。
- ・他校でも新入生の確保が厳しい状況と聞いたことがある。横浜国際福祉専門学校でも打破できるような対策・方法を考え、行ってほしい。

⑧財務

- ・ホームページで財務情報が公開されていることは評価できる。

⑨法令等の遵守

- ・個人情報の取り扱いは、慎重におこなってほしい。また健全な学校運営を行っていただきたい。

⑩社会貢献・地域振興

- ・長年「福祉教育」を継続しているのは、大変評価できる。今後も頑張ってもらいたい。
- ・学校祭を通して地域の方との交流をさらに深めてほしい。

⑪国際交流（必要に応じて）

- ・留学生を受け入れにあたって入学後の学習面・生活面の支援が重要であり、かつ学習面では、個別指導も必要かと思う。様々な支援体制づくりをおこなっていただきたい。